

サーモスタット付バス水栓(定量止水)

BF-X195TL

BF-X195TR

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。

また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

もくじ

安全上のご注意	1
特長	3
各部の名称	4
ご使用前に	5
ご使用方法	7
日常のお手入れ	9
定期的なお手入れ	9
修理を依頼される前に	13
アフターサービスについて	15
保証書	裏表紙

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 …… 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 …… 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。



…… 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）



…… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



…… 「分解してはいけません！」



…… 「指示した場所には触れてはいけません！」



…… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

警 告

給湯機器の温度設定は85℃以上で使用しないでください。

なお、安全のため60℃給湯をおすすめします。

※水栓が破損し、漏水のために家財等に損害を与える恐れがあります。



小さいお子さまだけの使用は避けてください。

※ヤケドやケガをする恐れがあります。



警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理・改造は行わないでください。

※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



温度調節ハンドルの温度表示で湯温を確かめた後、吐出してください。

※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。



温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、ゆっくり回してください。

※ヤケドをする恐れがあります。



高温の湯をお使いの後は必ず温度調節ハンドルを目盛「40」以下に戻し、しばらく水を流してから止めてください。

※次に使用するとき水栓内に残っている高温の湯を浴び、ヤケドをする恐れがあります。



給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。

※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。



高温の湯をお使いのときは吐水口付近は高温になっています。表面に直接肌を触れないようにしてください。

※ヤケドをする恐れがあります。



定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認してください。

※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生
の恐れがあります。



ストレーナーの掃除をする際は、いきなりストレーナーを緩めずに止水栓を閉めてから行ってください。（P. 10参照）

※閉じずに作業を行うと湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財などを濡らす
財産損害発生
の恐れがあります。



⚠ 注 意

<p>安全を確保するために定期的に逆止弁の交換をお願いします。 (P. 9 参照)</p> <p>※逆止弁が正常に作動しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流する恐れがあります。</p>	
<p>凍結が予想される際は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。</p> <p>※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
<p>水栓の上に物を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。</p> <p>※水栓が破損し、故障や漏水の原因になります。</p>	
<p>ご使用時は水側から吐水してください。通水後、ゆっくり高温側へ調節し、必ず素手で適温であることを確かめてください。</p> <p>※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p>	

特長

●簡単操作で温度調節

温度調節ハンドルの操作だけで、水から高温の湯までご希望の温度が得られます。

●安定した吐水温度

サーモスタットの働きにより、ほぼ安定した吐水温度が得られます。

●高温出湯防止で安全

高温側へハンドルを回そうとすると、安全ボタンの働きにより目盛「40」付近で一度止まるため、誤って高温の湯を出すということはありません。

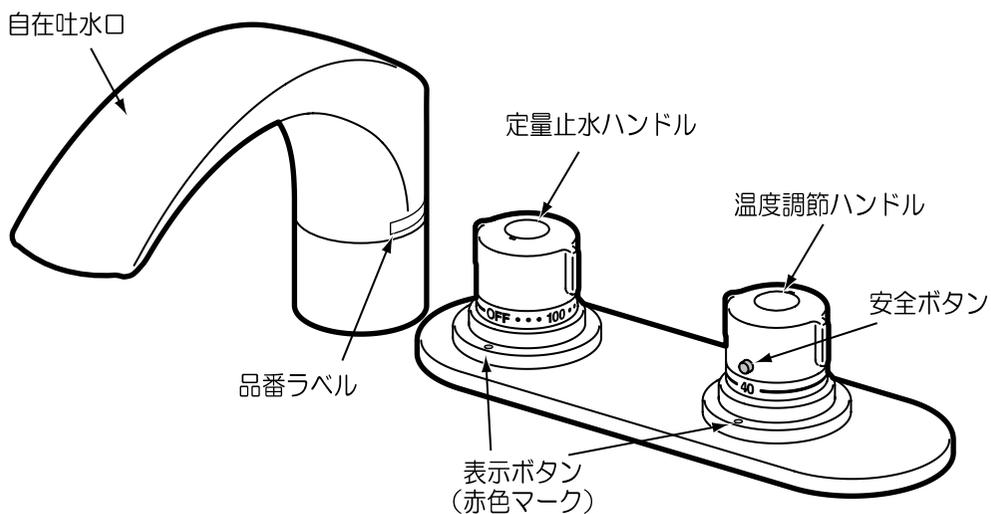
●経済的

温度調節ハンドルを適温にセットしたまま止水することができるので、再吐水時に温度調節の必要がなく、節水がはかれます。

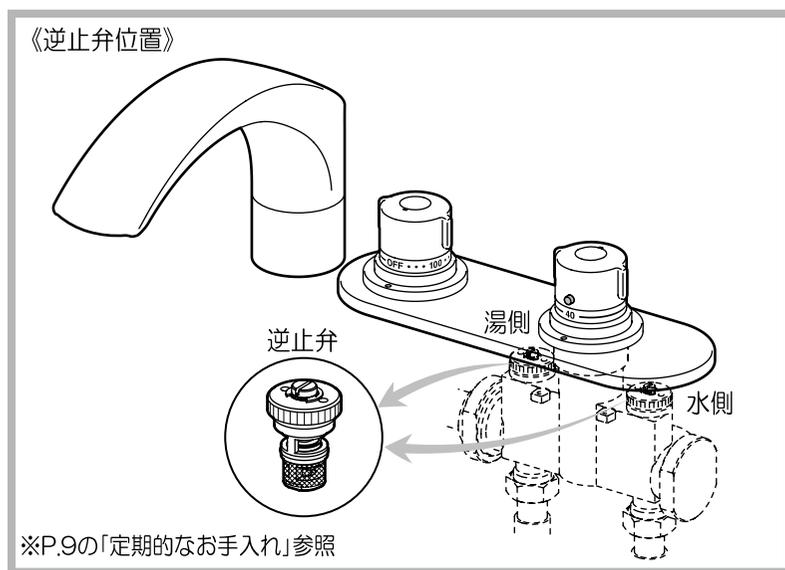
●定量止水機能付き

定量止水装置の働きにより、希望の湯量を吐出後、自動的に止水します。

各部の名称



※本図はLタイプを表しています。Rタイプは逆勝手になります。



ご使用前に

ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

- 給湯器の設定温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
- 給湯温度が変わると温度調節ハンドルの設定がズれて、表示通りの温度の湯が出なくなる場合がありますので注意してください。
- 最低作動流量(4L/分)を下回る流量で使用すると自動止水しなかったり、給湯器が着火しない場合がありますので、次の点に注意してください。
※16号以上のガス給湯器と組み合わせる。
※能力切替付の場合は4L/分以上の流量が確保できるよう能力を調整する。
(4L/分は目安として普通の洗面器を30秒程度で一杯にできる流量です。)
- 30L/分を上回る流量で使用すると、計量精度の保証ができません。

吐出温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが、使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示通りの温度が出ないことがあります。吐出温度が表示通りになっているか、以下の要領で確認してください。

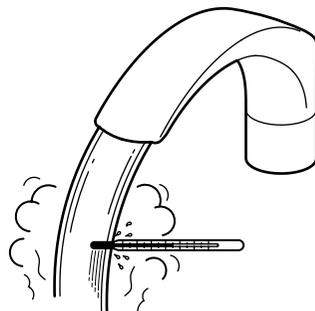
1. 目盛を合わせる

温度調節ハンドルの目盛「40」(=安全ボタン位置)が表示ボタン(赤色マーク)に合わせます。



2. 吐出温度の確認

吐出温度を確認します。



適温(約40℃)である



そのままお使いいただけます。

適温からズれている



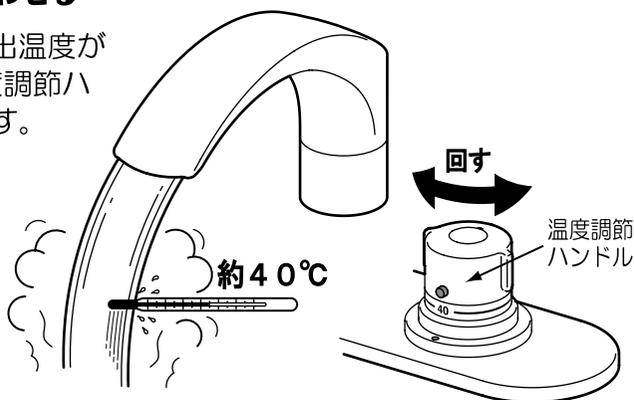
P.6の「温度調節ハンドルの設定」を参照に設定し直してください。

温度調節ハンドルの設定

吐出温度と温度調節ハンドルの表示がズれている場合は以下の手順で設定し直してください。

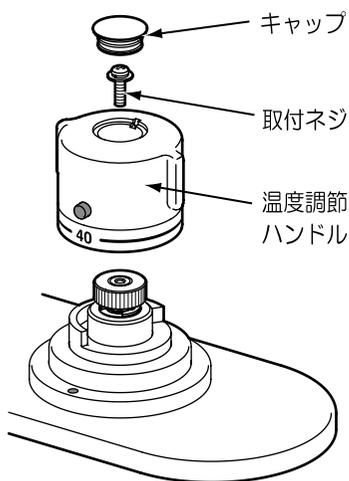
1. 吐出温度を約40℃に合わせる

目盛「40」に関係なく吐出温度が約40℃になるように温度調節ハンドルを回して調節します。



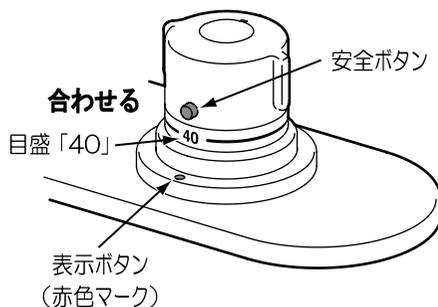
2. 温度調節ハンドルを外す

吐出温度が約40℃になったところで止水し、ハンドルが回らないよう注意して外します。



3. 温度調節ハンドルを付け直す

温度調節ハンドルの目盛「40」(=安全ボタン位置)が表示ボタン(赤色マーク)に合うように取付けます。



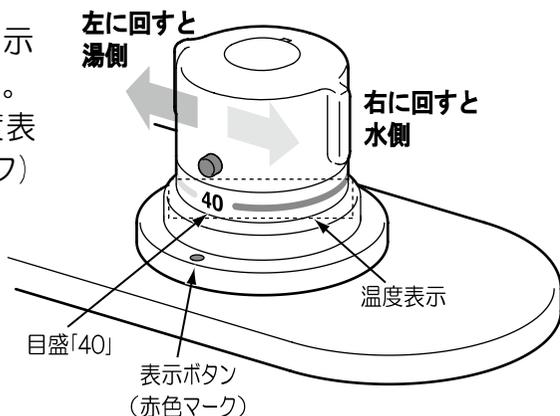
※温度調節ハンドルを取付けた後に一度、約40℃の湯が出ているか確認してください。

ご使用方法

温度の調節

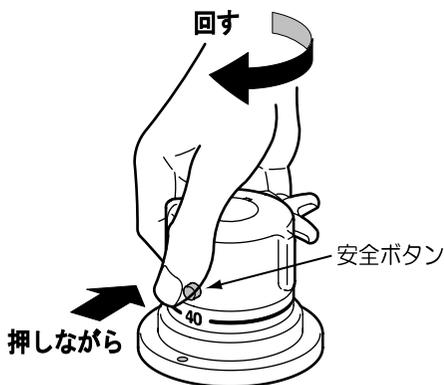
1. 温度調節ハンドルを回す。

温度調節ハンドルの温度表示は吐出温度を示しています。目盛「40」を目安として温度表示を表示ボタン(赤色マーク)に合わせてください。



2. 安全ボタンを押しながら回す。

温度調節ハンドルを高温側(左)に回すと、安全ボタンの働きで目盛「40」付近で一度止まります。お湯の温度を更に上げたい場合は、安全ボタンを押しながら回してください。



ポイント

◆より快適にご使用していただくために◆

給湯温度は「夏は温かく」「冬は冷たく」というように季節によって一定ではありません。このため給湯温度の変化につれて吐出温度がハンドルの温度表示とズれることがあります。この場合、給湯器の設定温度を「夏は低く」「冬は高く」調節していただくことでズレが少なくなり、いつでも快適にご使用いただけます。

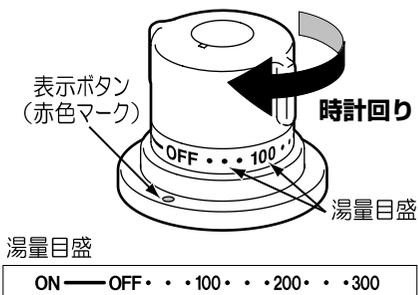


吐出量の調節

定量止水(自動止水)の場合

湯量目盛は自動的に止まる湯量(単位:L)の目安を示しています。

定量止水ハンドルを時計回りに回して、希望する量の湯量目盛を表示ボタン(赤色マーク)に合わせてください。ゆっくりとハンドルが戻り始め「OFF」の位置までくると吐出が止まります。



注意

- ハンドルの回転を妨げになるような物を近くに置いたり、タオルを掛けたりしないでください。
※自動で止水しなくなったり、設定量をオーバーする原因になります。
- 「100」以下の目盛に合わせるときは、一度「100」以上の目盛に回してから戻してください。
※そのまま「100」以下に合わせると自動止水しない場合があります。

ポイント

お使いの浴槽に適した湯量が決まりましたら、同封の適量ラベルを貼っておくと便利です。
※適量ラベルはハンドルの汚れや水分をよくふいてから貼ってください。

浴槽の大きさ	1人槽	2人槽	3人槽
湯はり量	約160L	約190L	約220L



連続して吐出する場合

定量止水ハンドルを反時計回りに回して、して「ON」を表示ボタン(赤色マーク)に合わせてください。
定量止水ハンドルを「OFF」に戻さない限り連続して吐出されます。



日常のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために、普段のお手入れは次のことに注意してください。

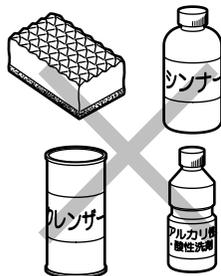
- 汚れは柔らかい布でふき取ってください。それでも落ちないときは、水ぶきし、最後にからぶきしてください。
- 水栓の表面を傷める恐れのある、以下のものは使用しないでください。

- クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
- ナイロンたわし、ステンレスたわし、ブラシ等

※ヒビ割れや変色の原因となります。

まちがって使用した場合は、すぐに水洗いをしてください。

- 壁面のタイル等をカビ取り剤で洗浄した場合は、タイルおよび水栓、シャワーヘッドを十分水洗いしてください。

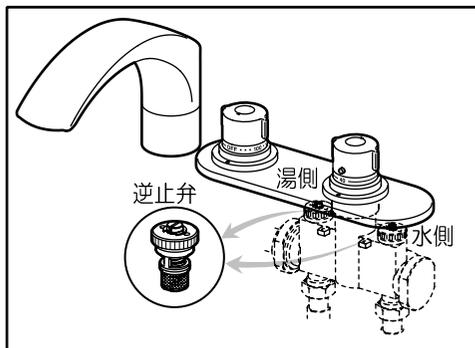


定期的なお手入れ

定期的な部品交換のお願い

安全を確保するため定期的に逆止弁を交換してください。

※逆止弁が正常に作動しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流する恐れがあります。



交換時期：3～5年

逆止弁の交換は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。

 0120-179-411

LIXIL修理受付センターにご依頼の場合、修理料金は“技術料”＋“出張料”＋“部品代”で構成されています。

ストレーナーの掃除

ストレーナーのゴミ詰まりは機能を低下させます。ときどき次の要領で掃除してください。

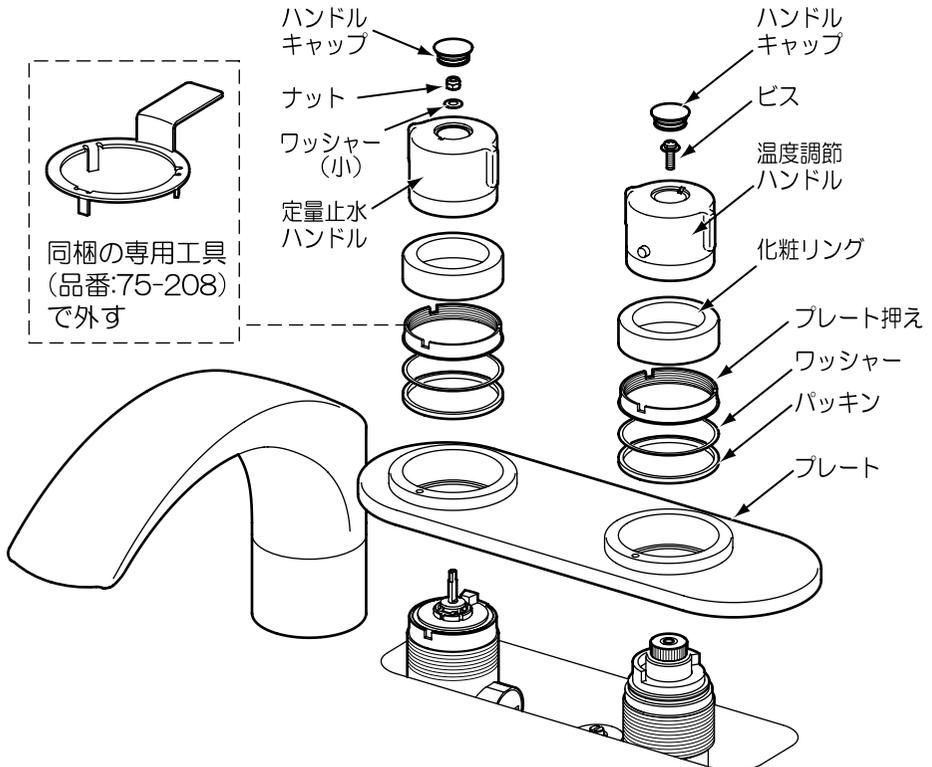
注意

ストレーナーの掃除をする際は、いきなりストレーナーを緩めずに止水栓を閉めてから行ってください。

※閉じずに作業を行うと湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

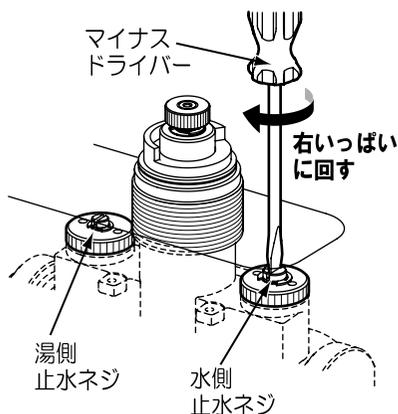
1. ハンドル類及びプレートを取り外す

ハンドル類やプレートを外します。



2. 止水栓を閉じる

湯側・水側の止水ネジを右（時計回り）いっぱい回し、止水栓を閉じます。



確認

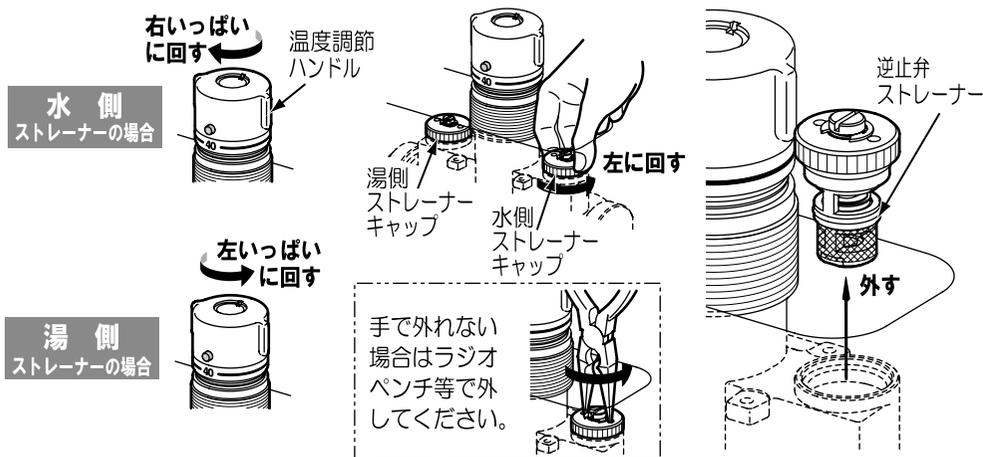
温度調節ハンドルと定量止水ハンドルを仮付けし、以下の手順で水が出ないことを確認します。

- 1 定量止水ハンドルを「ON」が正面に向くように回して圧抜きをする。
- 2 温度調節ハンドルを左右いっぱい回して、水が出ないことを確認する。
- 3 定量止水ハンドルを「OFF」が正面に向くよう回す。



3. 逆止弁ストレーナーの清掃

①温度調節仮ハンドルを右（時計回り）いっぱい回し、水側（右側）のストレーナーキャップを左に回して外します。

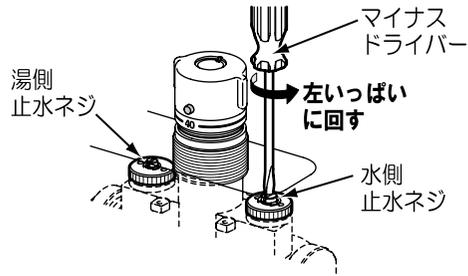


②ストレーナーに付いたゴミを水で洗い流した後、元の位置に取付けます。

③温度調節仮ハンドルを左（反時計回り）いっぱい回し、湯側（左側）のストレーナーも同様に掃除します。

4. 止水栓を開ける

湯側・水側の止水ネジを左（反時計回り）いっぱい回し、止水栓を開きます。

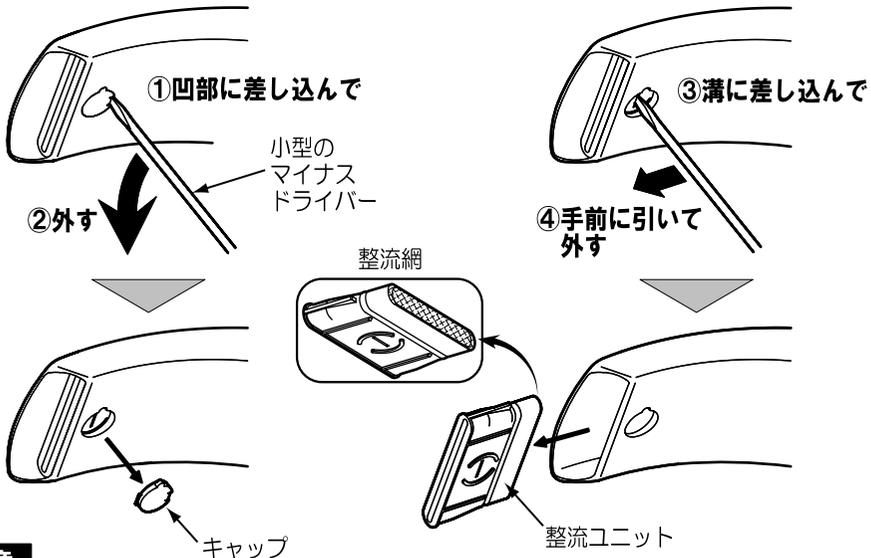


5. プレート及びハンドル類を取付ける

同梱の施工説明書の「施工方法⑥、⑦」の手順に従ってプレートやハンドル類を取付けます。

吐水口整流網の掃除

以下の手順で吐水口先端の整流ユニットを外して、整流網に付いたゴミを水で洗い流した後、元の位置に取付けます。



注意

取付けの際は整流ユニットを最後までしっかり差し込み、キャップをパチッと音がするまではめ込んでください。

修理を依頼される前に

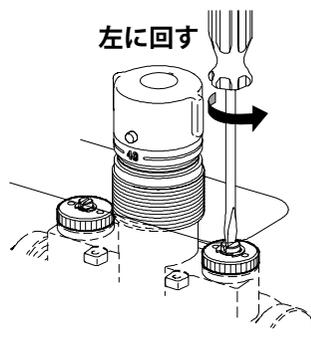
簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

流量が少ないとき

…→止水栓は十分に開いていますか？

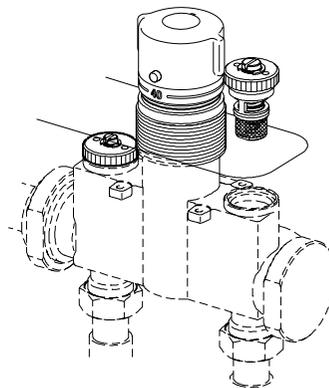
湯側（左）と水側（右）の止水栓が十分に開いていることを確認してください。

※ハンドル類及びプレートを取り外しは、P10を参照してください。



…→ストレーナーのゴミ詰まりはありませんか？

P10、11、12を参照に、ストレーナーのゴミ詰まりがないことを確認してください。



…→ガス給湯器は適正能力にセットされていますか？

ガス給湯器（能力切替付）と組み合わせてご使用の場合、適正能力にセットされていることを確かめてください

希望の温度が得られないとき

…→止水栓は十分に開いていますか？

湯側（左）と水側（右）の止水栓が十分に開いていることを確認してください。

…→ストレーナーのゴミ詰まりはありませんか？

P10、11、12を参照に、ストレーナーのゴミ詰まりがないことを確認してください。

…→適切な給湯温度設定になっていますか？

給湯器の設定温度が使用する温度より約10℃高く設定されていることを確認してください。

…→温度調節ハンドルの設定がズれていませんか？

P5の「吐出温度の確認」の項を参照にして、吐出温度が表示通りになっているか確認してください。

ズれている場合はP6の「温度調節ハンドルの設定」を参照にして、設定し直してください。

アフターサービスについて

1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項(P.14)を参照して確認してください。

△ 注 意

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



2. 保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は**取付けの日から2年間**です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼される時

《保証期間中は》

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

- “技術料” + “出張料” + “部品代”で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号 | 2. 商品名 |
| 3. 品番（商品に表示、「各部の名称」の項(P.4)参照） | 4. ご購入日 |
| 5. 故障内容、異常の状況 | 6. 訪問ご希望日 |

4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低10年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》お求めの取扱店または

LIXIL 修理受付センターまで（ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>）

TEL ☎0120-179-411 受付時間9:00～20:00 **365日受付**

FAX ☎0120-179-456

《使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは》

お客さま相談センターまで

TEL ☎0120-179-400 受付時間 平日 9:00～18:00

FAX ☎0120-179-430 土日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報をお客さまの個人情報に当たって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

—MEMO—

—MEMO—

—MEMO—

